

2007年12月期 決算説明会

決算説明資料



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2008年2月15日



本資料は、株式会社マネーパートナーズの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2008年2月15日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズにより2008年2月15日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I. 2007年12月期の決算概況

II. 2007年12月期の事業概況

III. 2007年12月期の取組み

IV. 業績見通しについて

V. 経営目標・経営戦略および重点課題

参考資料

I .2007年12月期の決算概況

2007年12月期 連結決算のポイント

① 顧客基盤の更なる拡大

総口座数**41,911口座** ⇒ 前期末比**100.1%増**
預り証拠金**24,736百万円** ⇒ 前期末比**39.1%増**

② 外国為替顧客取引高が急増

取引高約**3,560億通貨単位** ⇒ 前期比**414.2%増**

③ 営業収益、経常利益が前期(2006年12月期)比で急拡大

- ◆ 営業収益=7,143百万円 (**222.1%増**)
- ◆ 経常利益=4,581百万円 (**536.4%増**)

2007年12月期 連結業績

単位: 百万円

	2006/12期	営業 収益比	2007/12期	営業 収益比	前年同期比 (増減率)
営業収益	2,217	100.0%	7,143	100.0%	222.1%
受取手数料	356	-	5	-	-
外国為替取引損益	1,861	-	7,138	-	-
営業費用	1,496	67.5%	2,468	34.6%	64.9%
販売費及び一般管理費	1,496	-	2,468	-	-
営業利益	720	32.5%	4,675	65.4%	548.5%
経常利益	719	32.5%	4,581	64.1%	536.4%
税金等調整前当期純利益	700	31.6%	4,533	63.5%	547.3%
当期純利益	589	26.6%	2,851	39.9%	383.7%
経常利益率		32.5%		64.1%	

※2007/12期は連結、2006年12月期は中間まで単体、第3四半期より連結となっておりますが、連結子会社の業績に与える影響は軽微と判断し、便宜的に同期比較分析を行っております。

1. 米サブプライム問題による相場急変と顧客基盤の拡大により外国為替取引収益が急増
2. 外国為替取引収益の急拡大により、営業収益は222.1%増加
3. 人件費、電算機費及び支払手数料の増加により営業費用は64.9%増加
4. 経常利益は、前年同期比536.4%増加し急拡大

2007年12月期 販管費の概況

単位: 百万円

	2006/12期	構成比	2007/12期	構成比	前年同期比 (増減率)
人件費	426	28.5%	668	27.1%	56.6%
広告宣伝費	397	26.6%	338	13.7%	-14.9%
電算機費	265	17.8%	585	23.7%	120.2%
減価償却費	14	1.0%	45	1.8%	207.4%
支払手数料	56	3.7%	272	11.0%	386.5%
その他	335	22.4%	558	22.6%	66.4%
販売費及び一般管理費合計	1,496	100.0%	2,468	100.0%	64.9%

1. 人件費は、管理部門を中心とした組織体制の整備により56.6%増加
2. 広告宣伝費は、費用対効果を重視した営業政策により14.9%減少
3. 電算機費は、FXトレードシステムやネットワークの大幅な増強により120.2%増加
4. 支払手数料は、顧客取引高の急増に伴い大幅に増加

四半期業績推移

単位: 百万円

	2006/12期		2007/12期				前四半期 (07/3Q)対 比増減	前年同期 (06/4Q) 対比増減
	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)		
営業収益	624	1,003	1,568	1,723	2,186	1,665	-23.8%	66.0%
受取手数料	24	1	1	0	1	0	-	-
外国為替取引損益	599	1,001	1,566	1,722	2,184	1,664	-	-
営業費用	354	360	487	564	726	689	-5.2%	91.0%
販売費及び一般管理費	354	360	487	564	726	689	-	-
営業利益	269	642	1,080	1,159	1,459	976	-33.1%	51.9%
経常利益	269	642	1,079	1,098	1,430	972	-32.0%	51.4%
税金等調整前四半期純利益	278	622	1,079	1,095	1,430	927	-35.2%	49.0%
四半期純利益	194	516	665	710	880	594	-32.6%	14.9%
経常利益率	43.1%	64.0%	68.8%	63.7%	65.5%	58.4%		

- 2007/12期4Qは、相場変動率の低下により、3Q比で営業収益23.8%減、経常利益32.0%減
- 営業収益経常利益率は、やや低下したものの58.4%と引き続き高水準を維持

四半期販管費推移

単位: 百万円

	2006/12期		2007/12期				前四半期 (07/3Q) 対比増減	前年同期 (06/4Q) 対比増減
	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)		
人件費	110	135	136	156	175	199	13.7%	46.8%
広告宣伝費	71	35	67	76	145	49	-66.1%	40.5%
電算機費	73	74	115	133	171	164	-4.5%	119.8%
減価償却費	3	2	3	5	13	21	62.3%	744.6%
支払手数料	17	28	53	72	82	63	-22.8%	120.3%
その他	78	83	110	119	138	190	37.8%	128.2%
販売費及び一般管理費合計	354	360	487	564	726	689	-5.2%	91.0%

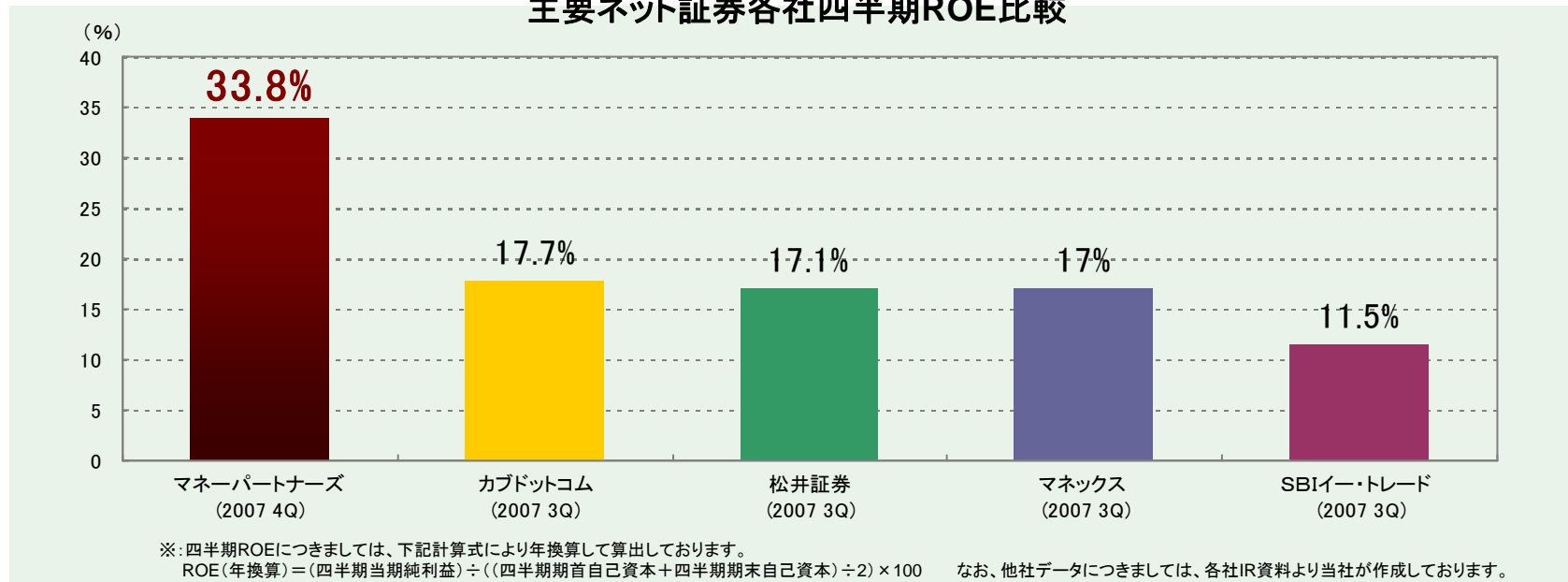
1. 広告宣伝費、支払手数料等の減少により4Qの販管費は3Q比5.2%減少
2. 4Qの広告宣伝費は、費用対効果の徹底により3Q比66.1%減少

主要経営指標推移

単位: %、百万円

	2006/12期	2007/12期			
	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)
ROE(自己資本利益率)※	158.3%	140.3%	70.4%	56.1%	33.8%
[参考]自己資本	1,564	2,230	5,839	6,724	7,035
営業収益経常利益率	64.0%	68.8%	63.7%	65.5%	58.4%

主要ネット証券各社四半期ROE比較

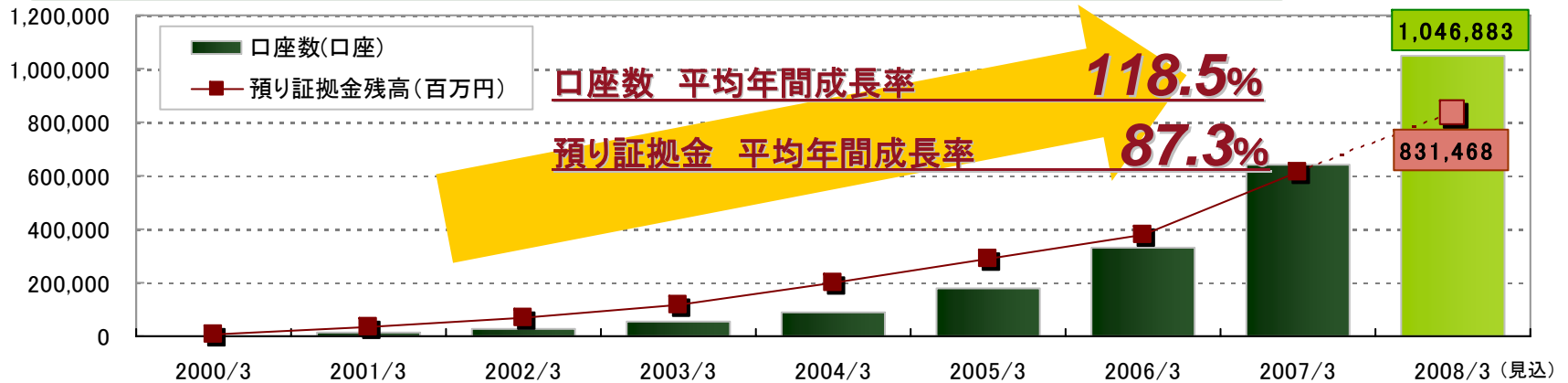


1. 自己資本の効率的な活用により高い純利益を確保しているためROEは高水準を維持

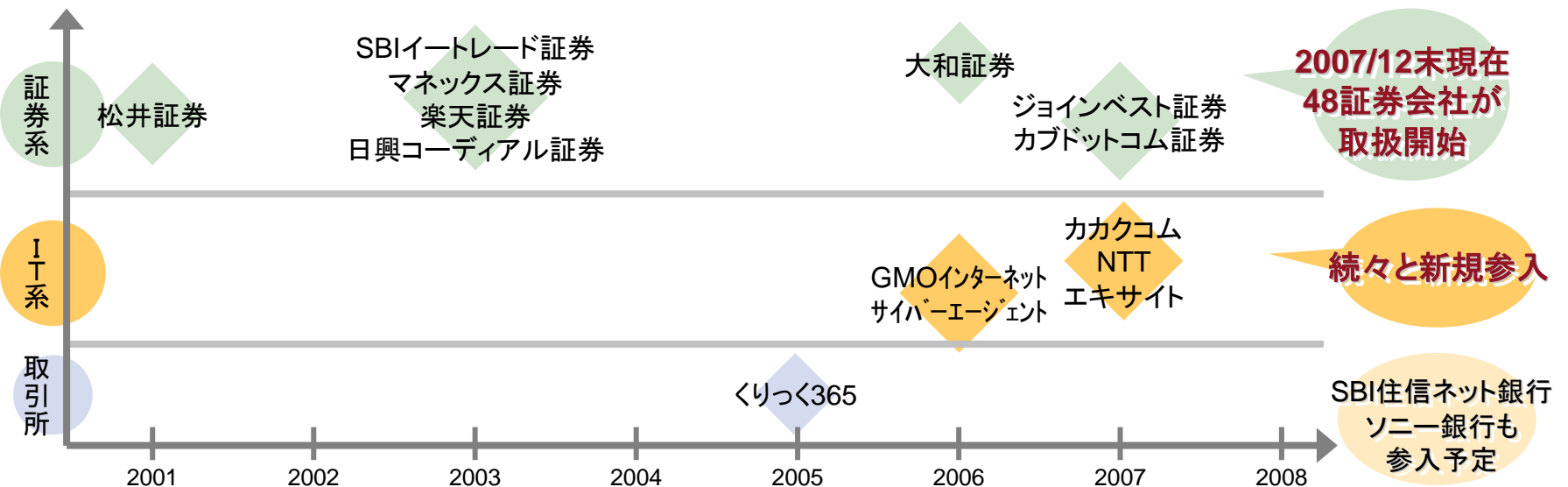
II.2007年12月期の事業概況

FX市場は大きく成長、今後も拡大傾向

(数値は矢野経済研究所調べ)



FXの認知度の高まりと証券会社・IT系企業のFX参入



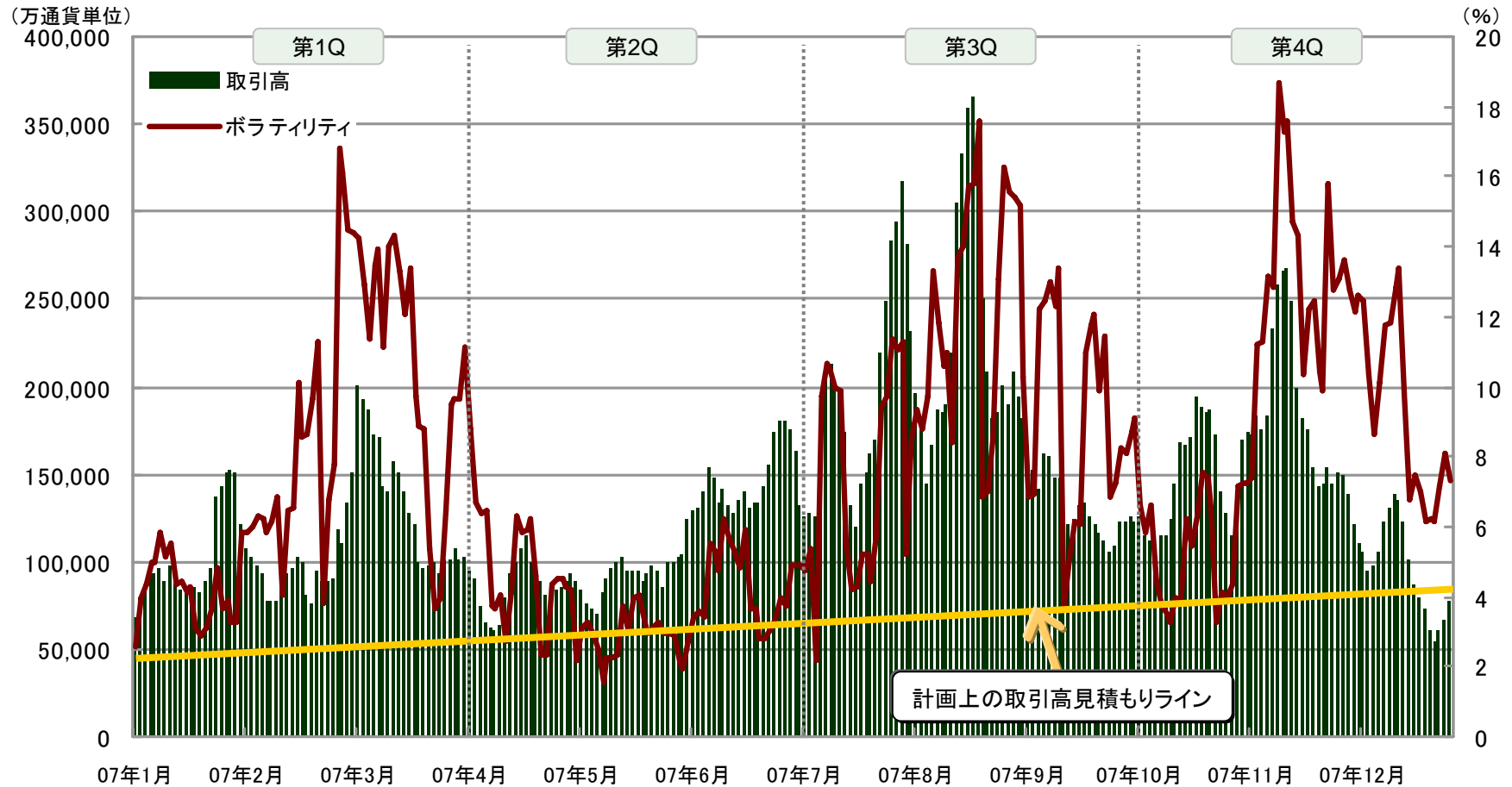
USD/JPY日足チャートと当社営業収益の推移



8月、11月の「米サブプライム問題」により短期間で急激なドル安円高に
 ▶ 当社顧客がアクティブトレーダー層中心のため、収益は為替のトレンドに依存しない

出来高・ドル円ボラティリティ

※5日平均値(5営業日のデータを基にしたボラティリティ)



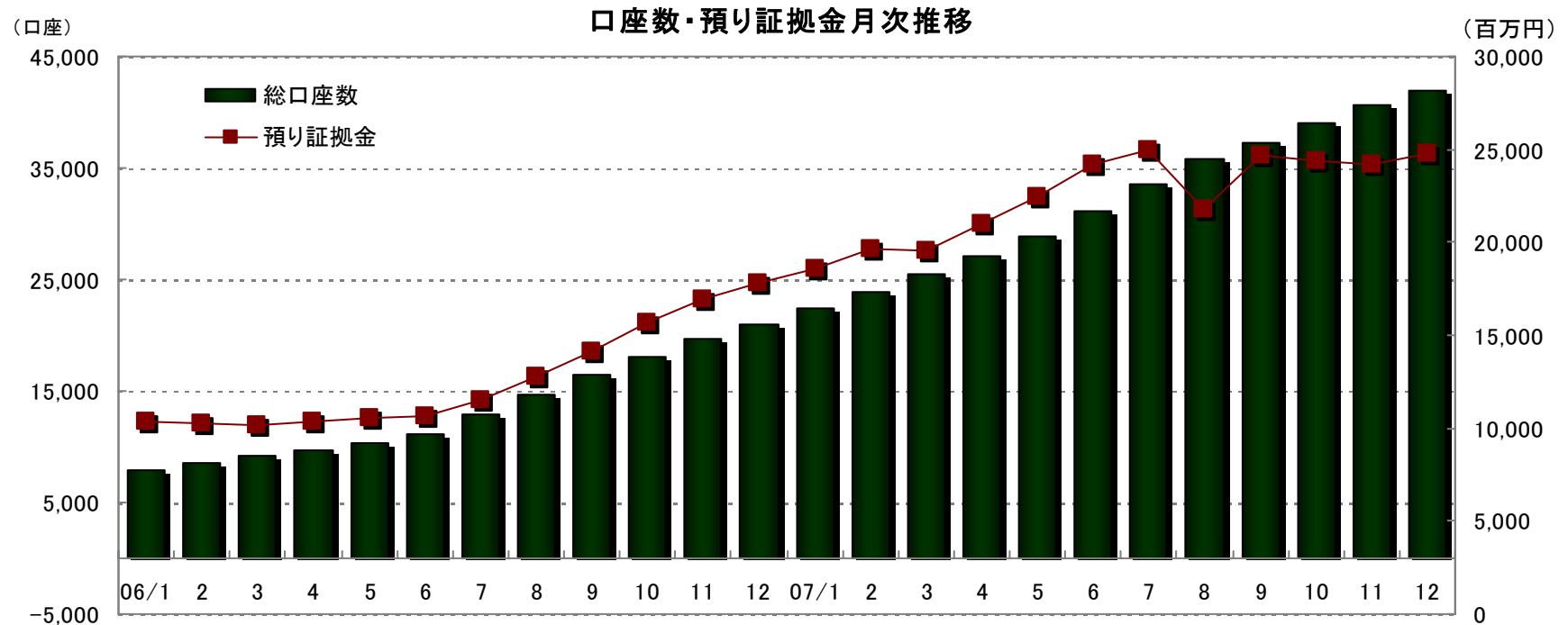
当社の外国為替取引高は、通貨のボラティリティ(変動率)との相関性が極めて高い



事業計画は、相場が「なぎ」(変動率低)の状態を想定して作成

顧客口座数と預り証拠金の推移

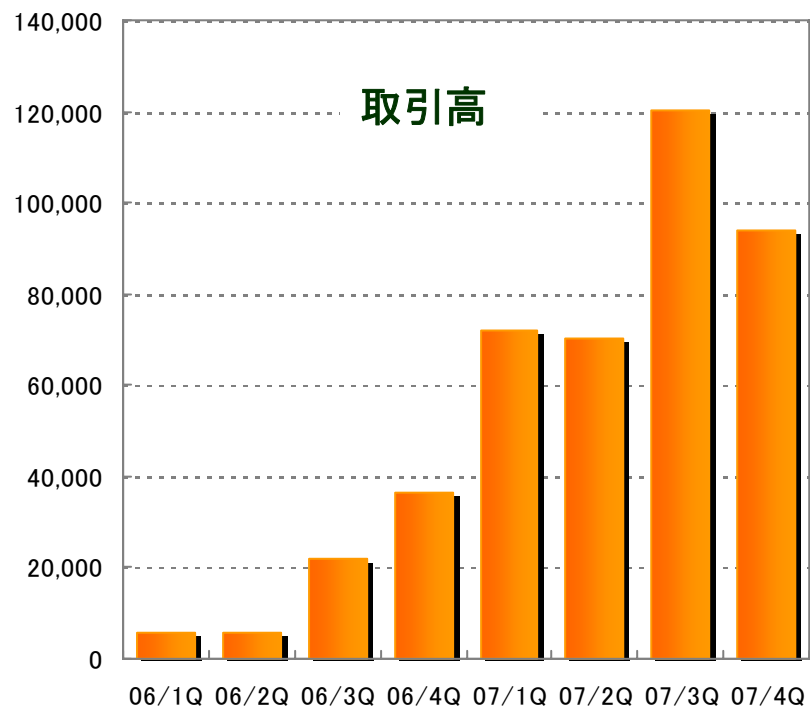
区分	決算期								
	第1期 (2005年)	第2期 (2006年)				第3期 (2007年)			
	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
【顧客口座数】 (単位:口座)	7,479	9,128	11,063	16,451	20,948	25,458	31,078	37,326	41,911
【顧客預り証拠金】 (単位:百万円)	10,399	10,185	10,680	14,095	17,776	19,507	24,188	24,712	24,736



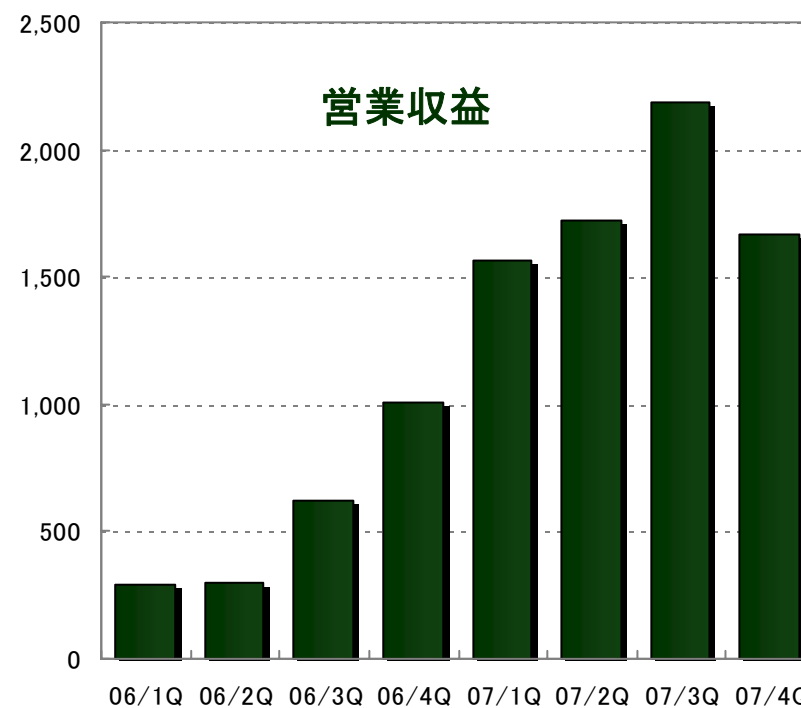
口座数は月次平均6.6%ずつ増加、証拠金はサブプライムの影響で伸び悩む

取引高と営業収益の推移

(百万通貨単位)



(百万円)

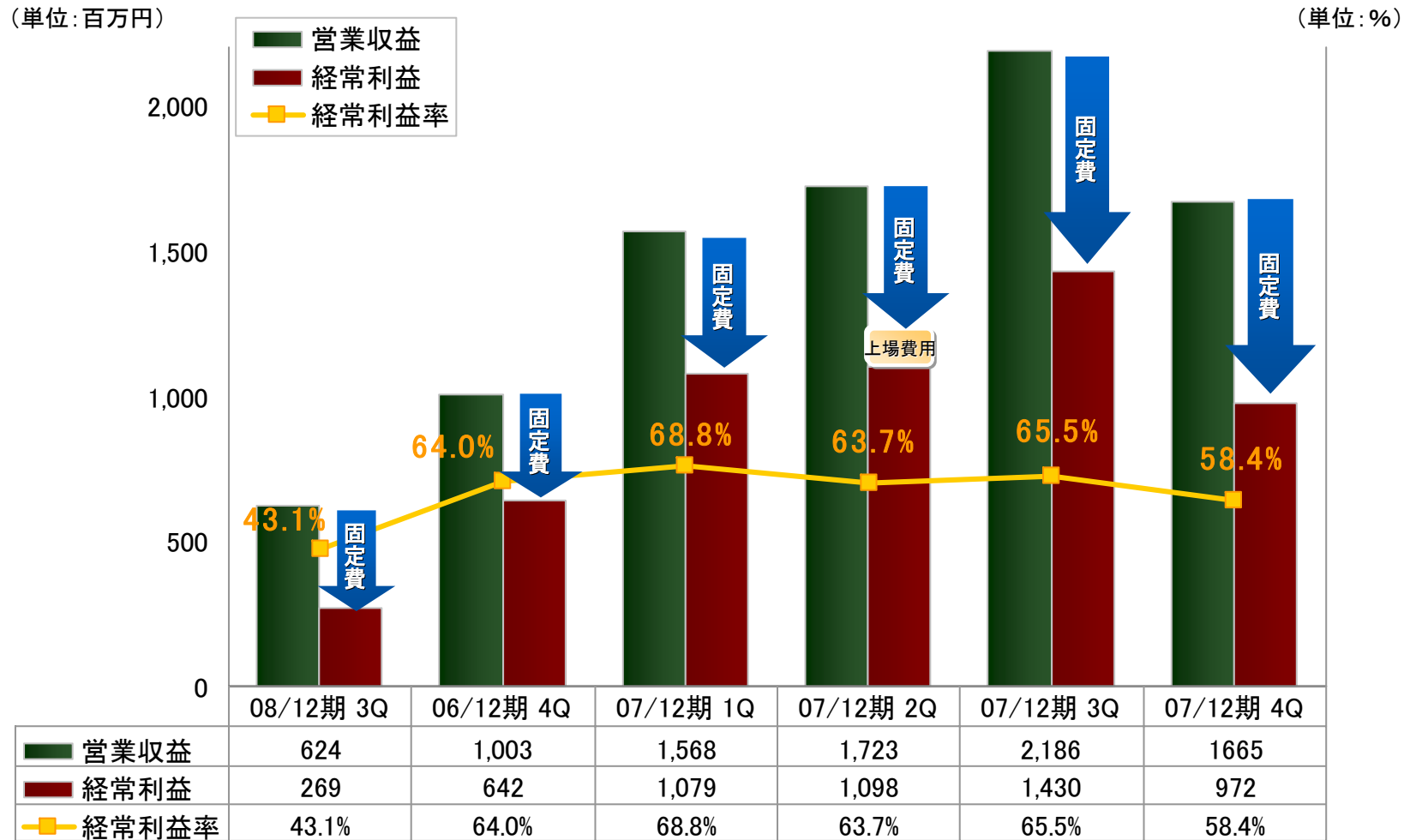


	06/1Q	06/2Q	06/3Q	06/4Q	07/1Q	07/2Q	07/3Q	07/4Q
外国為替取引高	5,082	5,659	22,139	36,365	71,828	70,229	120,069	93,972
営業収益	289	299	624	1,003	1,568	1,723	2,186	1,665

(単位＝外国為替取引高：百万通貨単位、営業収益：百万円)

取引高・営業収益ともに順調に拡大

2006年第3Q～2007年第4Q 四半期業績推移



III.2007年12月期の取組み

システム関連の取り組み

- ① 注文系・約定系データベースの刷新、HP社「Superdome」を導入
- ② WEBサーバーをはじめとした各種システムの増強
- ③ リスク管理システムの拡充 → 3種類のシステムで顧客サポート

顧客向けサービス関連の取り組み

- ① ドル円スプレッド3銭の恒常化と通貨ペアのスプレッドナロー化
- ② 多機能化を実現したHyper Speed Ver.2.1～2.2を矢継ぎ早にリリース
- ③ Hyper Speedモバイル(i-アプリ)をリリース。モバイル取引を強化
- ④ FX取引画面 10パターン色 選択可能化
- ⑤ WEBセミナー(合計21回)

その他の取り組み

- ① 金融商品取引法施行に対する対応
- ② 財務報告に関わる内部統制(日本版J-SOX)対応
- ③ 迅速性のある情報開示の推進

DBサーバをはじめとしたシステムの大幅増強

データベースサーバ



HP Integrity Superdome導入



WEBサーバ	6台
顧客向けアプリケーションサーバ	2台
モバイル用サーバ	2台
顧客向けニュースサーバ	4台
約定処理サーバ	8way 32bit
ヒストリカルデータベース	8way 32bit



20台
10台
3台
8台
16way 64bit
16way 64bit

HyperSpeed用サーバ
HyperSpeedモバイル用サーバ
顧客向けレート配信サーバ



7台
3台
20台

業界最高レベルのシステム導入で顧客取引の信頼性を強化

証拠金、建玉、純資産評価でリスク管理のシステム



為替相場の急変動による損失の拡大リスクについて顧客自ら管理が可能に

商品性と利便性のブラッシュアップ

ドル円スプレッド3銭の恒常化政策

提示ドル円スプレッド
通常4銭、不定期3銭



平時における
提示ドル円スプレッドを
3銭へ

■ドル/円3pips恒常化に続き、4通貨ペアのスプレッドをナロー化

7月2日～

通貨ペア	変更前	変更後
ユーロ/円	5pips	4pips
ポンド/円	9pips	8pips
ユーロ/ドル	5pips	4pips
南アランド/円	8pips	6pips

9月28日～

通貨ペア	変更前	変更後
南アランド/円	6pips	4～5pips

顧客の取引コスト最小化と固定化により競争力を更に強化

多機能化したHyper Speed Ver2.1-2.2をリリース

アプリケーション版取引システム『Hyper Speed』がより進化(11月)。Ver2.1では「ASストリーミング注文」、複合注文機能などを実装！！



Ver2.2で新たに実装された機能

- ①チャートに建玉、指値状況をライン・ラベル表示機能
- ②指値ライン・ラベルからの注文変更・取消機能
- ③建玉ライン・ラベルから決済注文呼出機能
- ④ニュースのリアルタイム閲覧機能
- ⑤口座状況、ニュース表示のティッカーバー表示機能

2007年12月にリリース！！

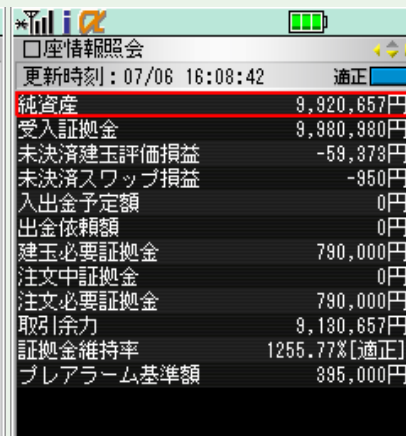
2008年はダイレクト起動等(Ver2.3)を予定し更なる多機能化を推進

Hyper Speedモバイルを11月より提供開始



「Hyper Speed」のi-アプリバージョンである「Hyper Speedモバイル」(＝NTTドコモ専用)のサービス提供により、モバイルによるトレード環境を大幅に改善。従来のWEBベースに加え、モバイル取引を強化。更なる顧客満足度の向上を実現。

「Hyper Speedモバイル」のレート表示、ストリーミング注文、口座開設照会、チャートの各画面見本



取引画面10色、WEBセミナーの提供

■顧客の嗜好に合わせて、FX取引画が10パターン色から選択可能に



standard red-orange
pink-gold monotone-black
monotone-sky white-peach
monotone-blue char-red
classic toricolor

その時々で自由に



■年間21回のWEBセミナーを実施

= 第4四半期に実施したWEBセミナー =

10月17日 「今日から始めるFX～これで私もFXデビュー」

27日 「今日から始めるFX～各通貨の特徴を把握しよう」

29日 「今日から始めるFX～各通貨の特徴を把握しよう」

11月14日 「これで私もFX名人～ポイントはたったこれだけ」

26日 「リスクを知ればトレンドが見える」

12月12日 「資産運用はFXで決まり！年末年始のFX活用法」

19日 「今年最後の武市セミナー 聞きたい知りたい2008」

27日 「トレーディングツールで切り開く2008年」

当社の社長、アナリスト、コールセンター職員が、当社の顧客を中心とした受講者に対し、FXの仕組みやリスク管理について講義。顧客満足度向上に向けた施策を継続的に展開。

顧客の当社へのロイヤリティ向上のために細やかな施策を実施

金融商品取引法施行に対する対応

平成19年9月30日に施行された金融商品取引法(金商法)に対応するために、契約約款の改訂やホームページの大幅な改訂等、投資家保護及び投資環境を整備。

財務報告に係る内部統制(J-SOX)対応

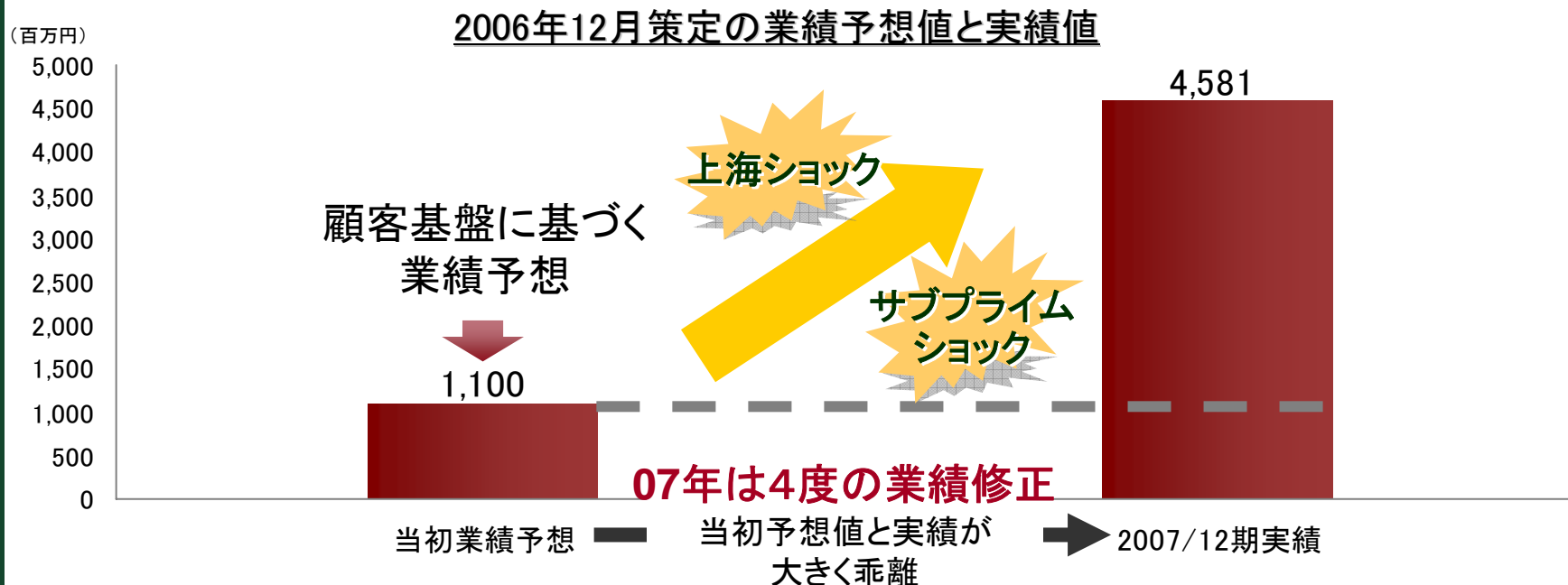
平成20年4月1日以降開始する事業年度より、全ての上場企業に適用される内部統制報告制度に備え、「内部統制対策プロジェクト」(責任者:代表取締役社長 奥山泰全)を発足させ内部統制構築に向けた取組みを推進。

迅速性のある情報の開示を推進

毎月末の「顧客総口座数」及び「顧客預り証拠金」の開示を翌月15日前後に、自己資本規制比率の開示を翌月末に、当社ホームページで継続して開示。

IV.業績見通しについて

2007年12月期の業績予想値と実績値は大きく乖離



激しいマーケット環境の変化、国内外経済状況の影響を受け、合理的な将来予想が困難に

業績予想開示は投資者の判断を大きく誤らせる可能性があると懸念

マーケットや政治・経済動向に大きな影響を受けるため 正確な業績予想が困難

外国為替証拠金取引を左右するファクター



業績予想値の開示の代替に営業指標の開示を行います

投資者・株主の皆様には、月次での営業指標の開示を充実させることで今後とも当社の業績動向について適時・適切な開示に努めていく所存です。

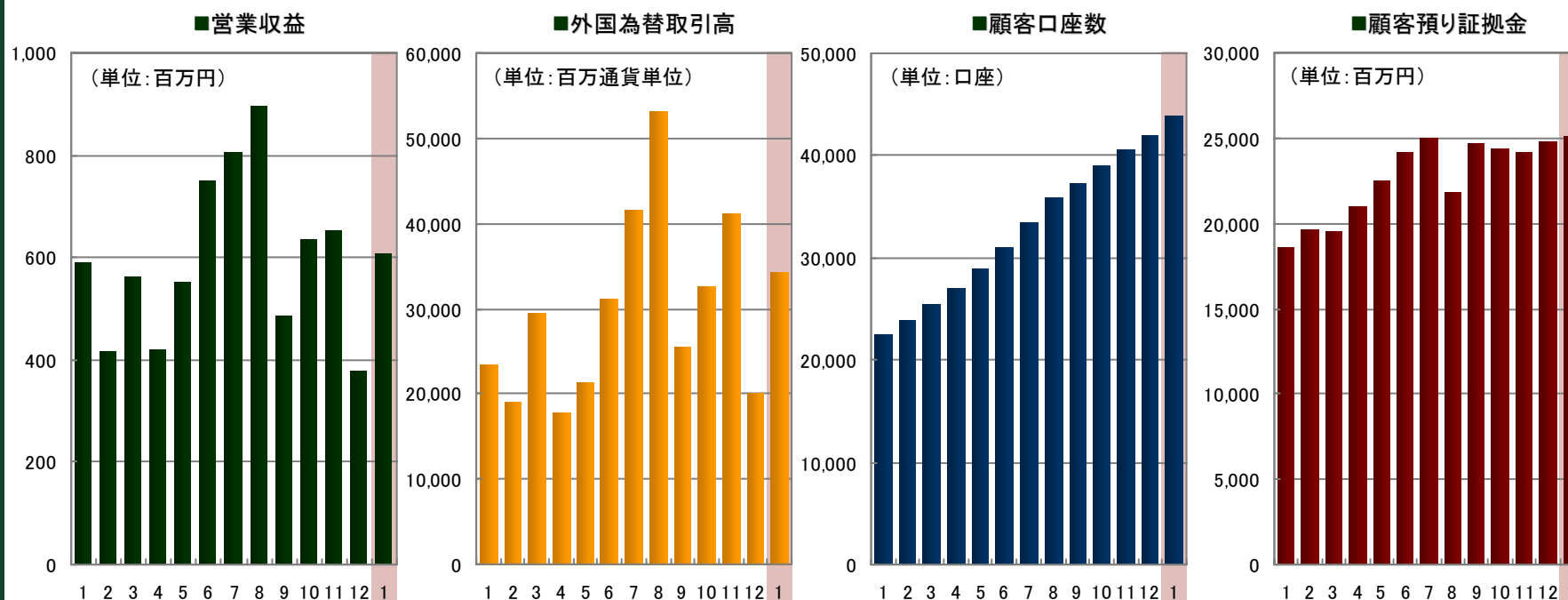
月次で下記の営業指標を開示



1月はボラティリティ(変動率)が大きくなり営業収益、取引高が増加しました

2007年12月期 業績指標推移(参考)

	07年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	08年1月
営業収益(百万円)	589	417	561	421	551	750	806	895	484	636	651	377	608
取引高(百万通貨単位)	23,331	19,001	29,496	17,734	21,413	31,081	41,542	53,060	25,465	32,705	41,210	20,056	34,255
顧客口座数(口座)	22,424	23,849	25,458	27,017	28,897	31,078	33,506	35,859	37,326	39,027	40,669	41,911	43,967
顧客預り証拠金(百万円)	18,622	19,651	19,507	20,973	22,430	24,188	24,980	21,819	24,712	24,372	24,172	24,736	25,123



顧客口座数は順調に拡大。取引高及び営業収益は相場状況に左右

V.経営目標・経営戦略および重点課題

高水準のROEおよび営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2007年12月期のROEは64.0%を達成

- ・高水準のROEを維持。
- ・ROEの高水準維持のため、更なる効率化を目指します。

※:2007年12月期ROEにつきましては、下記計算式により算出しております。
$$ROE = (2007年12月期当期純利益) \div ((2007年12月期期首自己資本 + 期末自己資本) \div 2) \times 100$$

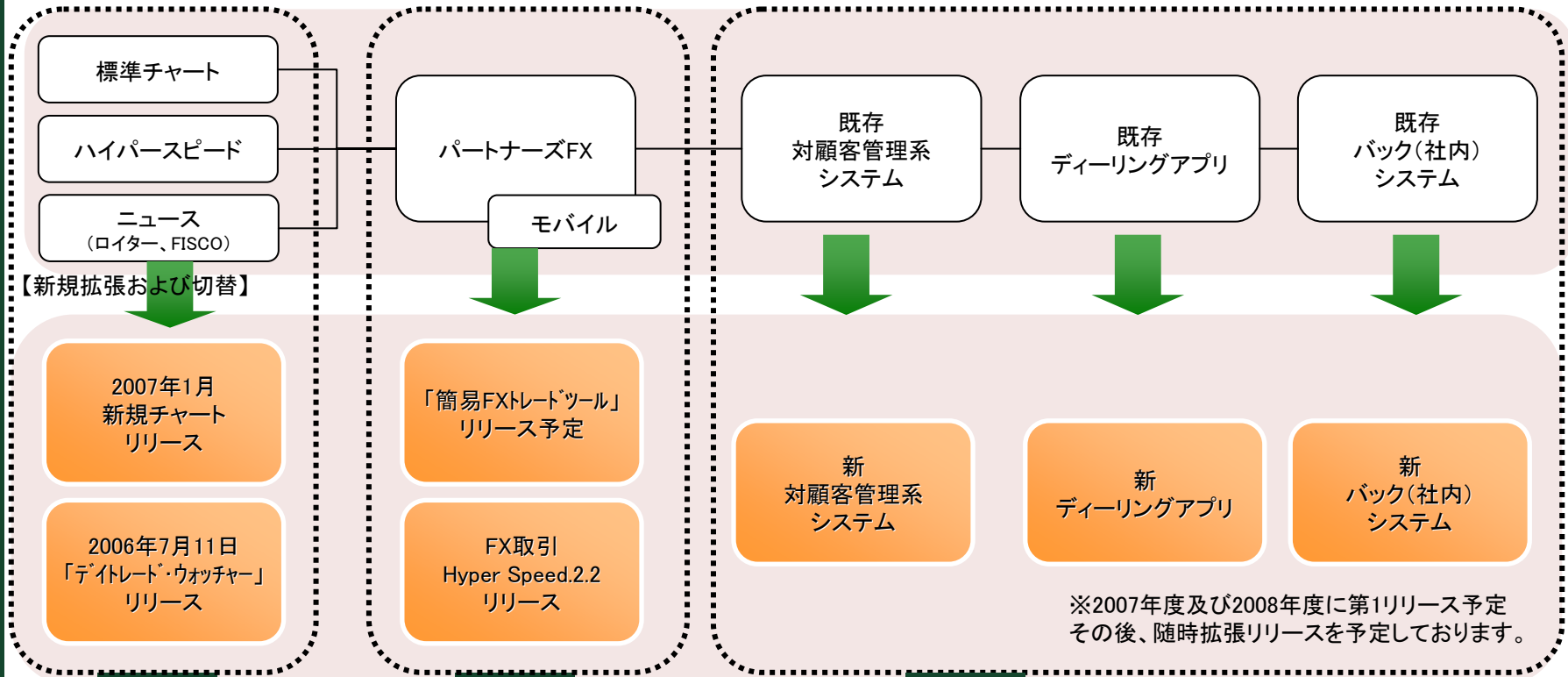
▶ 2007年12月期の営業収益経常利益率は、64.1%となり、60%越えを達成。

- ・トランザクション型ビジネスモデルによる高水準の利益率。
- ・顧客基盤の安定的な増加と顧客による外国為替取引高の増加を目指します。

さらなるアプリケーション端末多機能化とモバイル強化の実施 簡易トレードツールの市場投入を予定

当社におけるシステム拡張、移行計画を内製化により実現し、既存システム環境へのサービス追加、新規システムの開発、切り替えを行っていきます。

【既存環境】

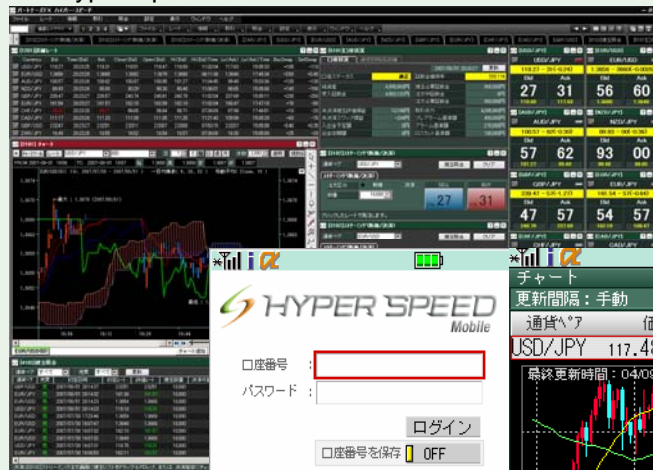


将来的には、他金融商品への拡張、他クライアントへの供給を想定(ASP展開)

「HyperSpeed」の多機能化により一層の差別化を推進

チャート分析とトレーディングが同一画面内で行える
アプリケーション型トレードシステム「Hyper Speed」の高機能・多機能化を推進し、
他社との差別化、顧客利便性とロイヤリティの強化に努める。

■Hyper Speed



■Hyper Speedモバイル



■Ver2.3ではハイパースピードのダイレクトログイン（起動）の実装などを予定しております。



顧客満足度を高める機能の増強に加え、新たな各種売買ツールの提供を図り競合との明確な差別化を追求。

2008年前半に証券業の登録を取得し、証券会社へ

証券業登録の目的

1. 有価証券担保によるFX取引サービスの展開



2. 当社ブランド力の向上

マネーパートナーズ
外国為替
証拠金取引業者



事業展開がスムーズに
顧客のイメージの改善
顧客数の増加

高い耐震性と高セキュリティ、回線の高速安定化、システムの冗長化を実現する第二データセンターを構築

6段階にも及ぶ高セキュリティと高耐震性を確保できる日本最大級のデータセンターに120㎡エリアを確保。基幹データベース、アプリケーションサーバ、Webサーバを含む200台以上のサーバ群を順次稼動。

物理的リスクへの対策

サービスレベルの向上

Internet回線は国内最大のIX(Internet Exchange)である(dix-ie, JPIX)へ直接アクセスが可能。高速かつ安定したサービスの供給を実現。

信頼性 安全性

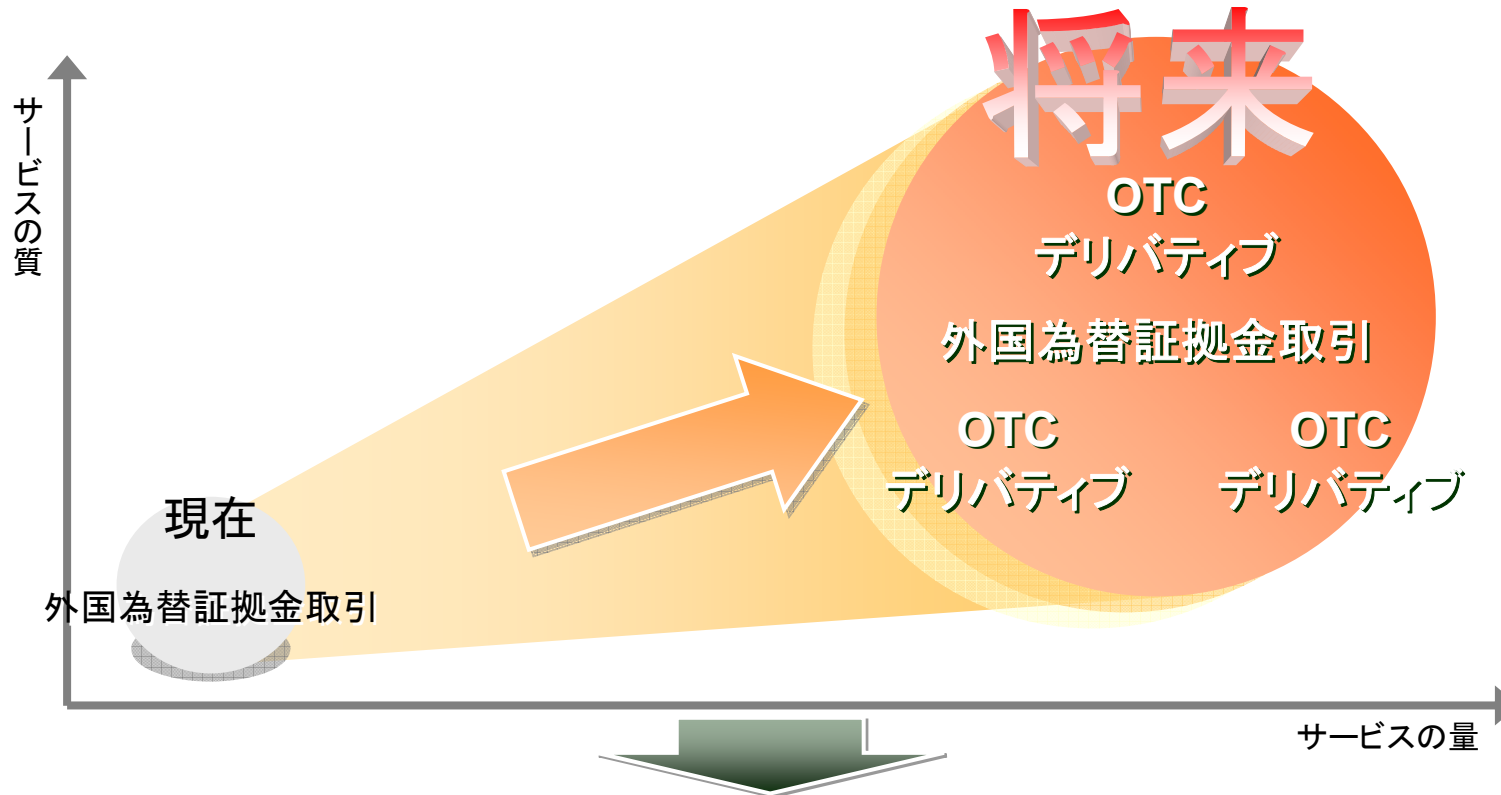
BCP、DRの要件に対応

第一データセンター、第二データセンター、六本木オフィス間を全てギガビットのネットワーク回線により接続。基幹データを相互に保持し、ネットワーク、サーバ、データセンターをも含めて冗長化。

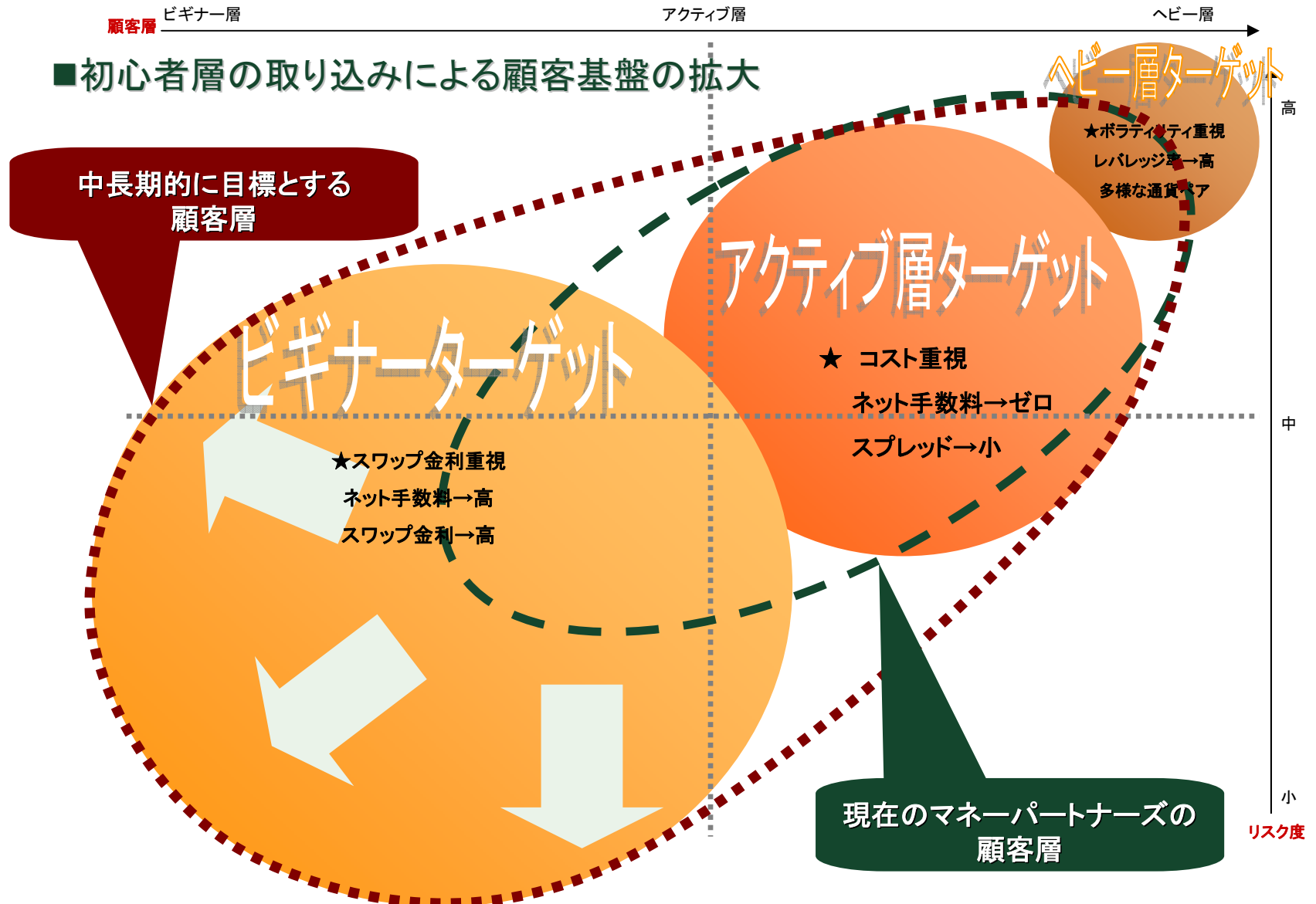
- 20年2月 (予定) 第2データセンター稼動
- 20年3月 (予定) 第2データセンターにおいてHP Integrity Superdome追加稼動
ネットワーク、インフラを大規模に増強した環境整備(19年10月15日適時開示済)
- 20年3月以降(予定) 第2データセンターアプリケーションサーバを順次稼動
次期基幹システムの稼動(19年9月20日一部適時開示済)

中長期的な経営戦略～FXに次ぐ収益の柱の確立

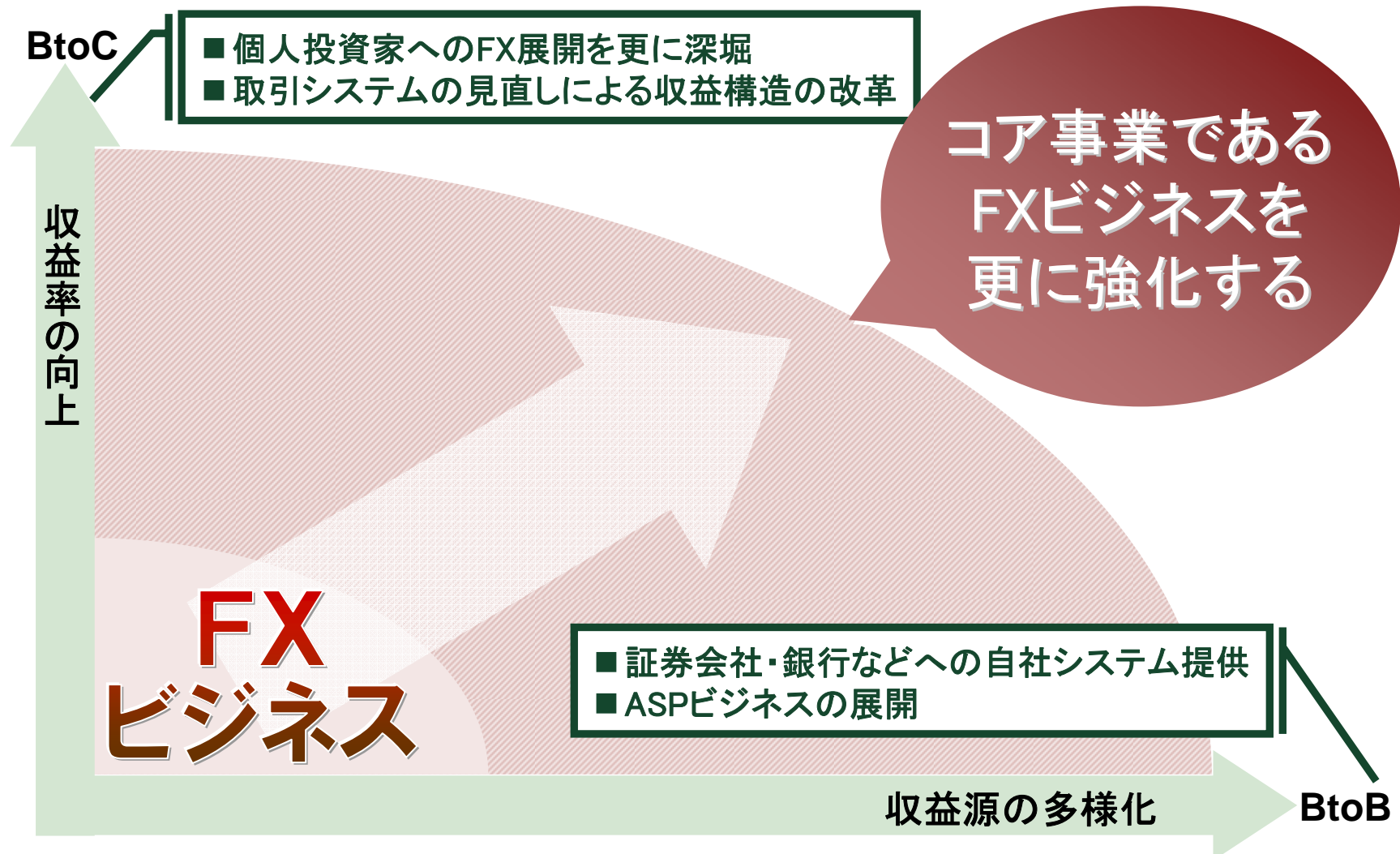
- 外国為替証拠金取引をビジネスの基軸とし、顧客基盤と収益を拡大させ事業を展開
- 商品性の更なる向上、ツールの洗練化、取引システムの一層の安定化などを通して競争優位を確立
- OTCの特性を活かし、金融デリバティブ商品を展開し、FXに次ぐ収益の柱へ



顧客から信頼され、安心できる会社としての認知を獲得



- FXビジネスの横展開による収益源の多様化と収益率の更なる向上



2008年1月1日に株式分割(1:3)を実施

2007年12月31日を基準日とし、1株につき3株の割合をもって当社株式を分割いたしました。

株式分割の目的

投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるため、株式分割を実施することにより投資金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的といたします。

配当政策及び配当金額について

配当性向 当期純利益の25%を目処とする

配当金額 (2007年12月期 1株あたり配当金)

基準日	中間	期末	年間
配当金額	—	6,700円*	6,700円*

*株式分割前の1株あたり配当金額

※本件は平成20年3月18日開催予定の第3回定時株主総会に付議する予定です。



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2008年2月15日



参考資料

- ・当社の概要と沿革について
- ・当社の事業内容、収益構造、強みについて
- ・パートナーズFXのご紹介

- 商号 株式会社マネーパートナーズ

- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億3,972万円（平成19年12月31日現在）
- 登録番号 関東財務局長(金商)第297号

- 主な事業内容
 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引及びこれに付随する一切の業務
 2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
 3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

- 関連会社 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
(100%出資子会社)



社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス

年月		事項
平成17年6月	新設分割	<input type="checkbox"/> 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	<input type="checkbox"/> インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプレクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	<input type="checkbox"/> 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	<input type="checkbox"/> 金融先物取引業登録(登録番号:関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 <input type="checkbox"/> 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	<input type="checkbox"/> エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ 25倍→50倍	<input type="checkbox"/> インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	<input type="checkbox"/> 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社設立	<input type="checkbox"/> システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	<input type="checkbox"/> レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 <input type="checkbox"/> モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	<input type="checkbox"/> CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 <input type="checkbox"/> 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシーマーク 取得	<input type="checkbox"/> 「プライバシーマーク」認定取得〔認証番号:第A680011(01)号〕
平成19年6月	上場	<input type="checkbox"/> 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード:8732)
平成19年11月	HyperSpeed モバイル版リリース	<input type="checkbox"/> 『HyperSpeedモバイル』(i-アプリ)リリース
平成19年12月	HyperSpeedVer2.2リ リース	<input type="checkbox"/> 【HyperSpeed(ハイパースピード)】Ver2.2リリース

平成18年7月よりインターネット取引手数料の完全無料化

Foreign Exchangeの略 ⇒ FX取引

1998年外為法改正



為替取引の完全自由化

個人投資家の取引活発化



マーケットオリエンテッドな取引商品

2005年改正金先法施行



業者の乱立と淘汰（600社→100社強）

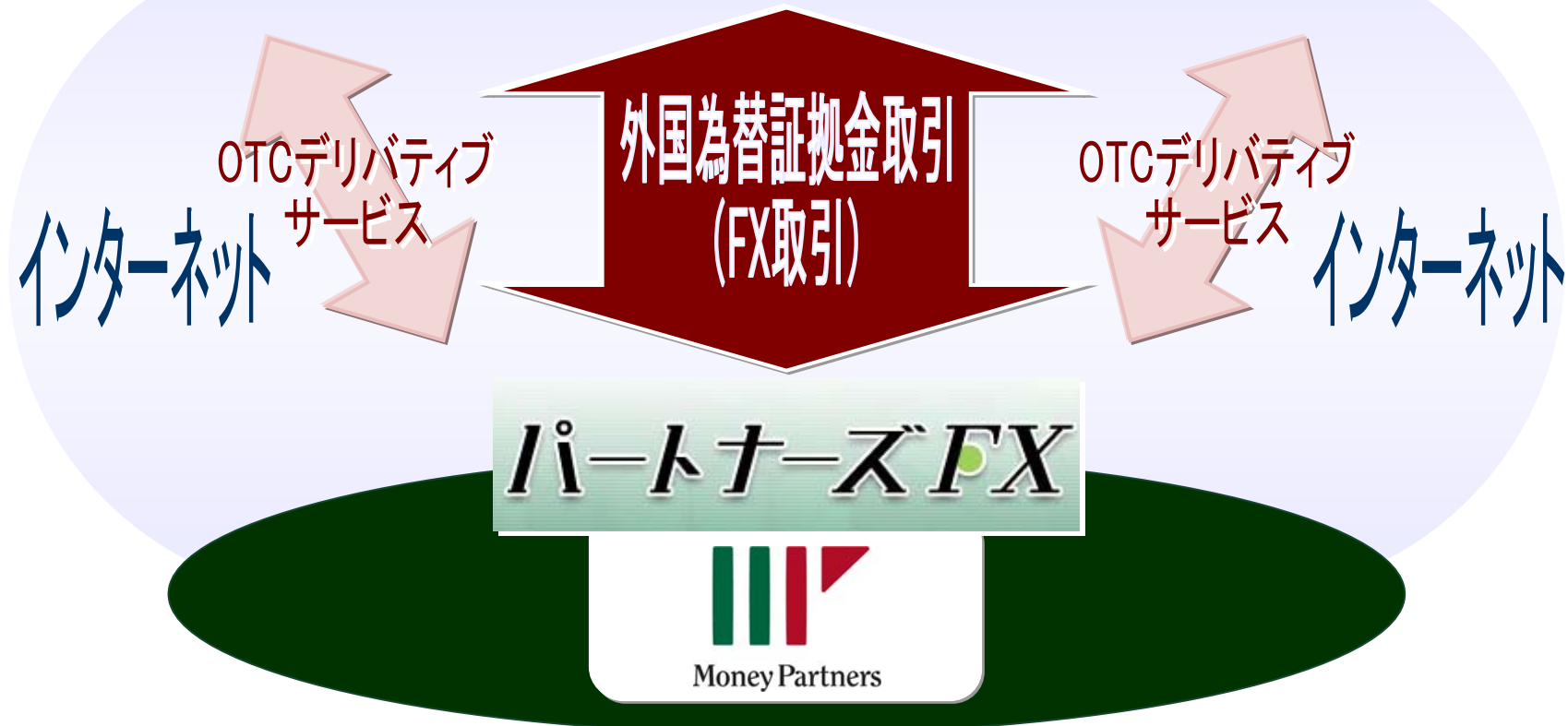
2007年9月金商法施行



証券会社と同種扱いの金融庁管轄に。
透明性や内部管理体制の更なる厳格化

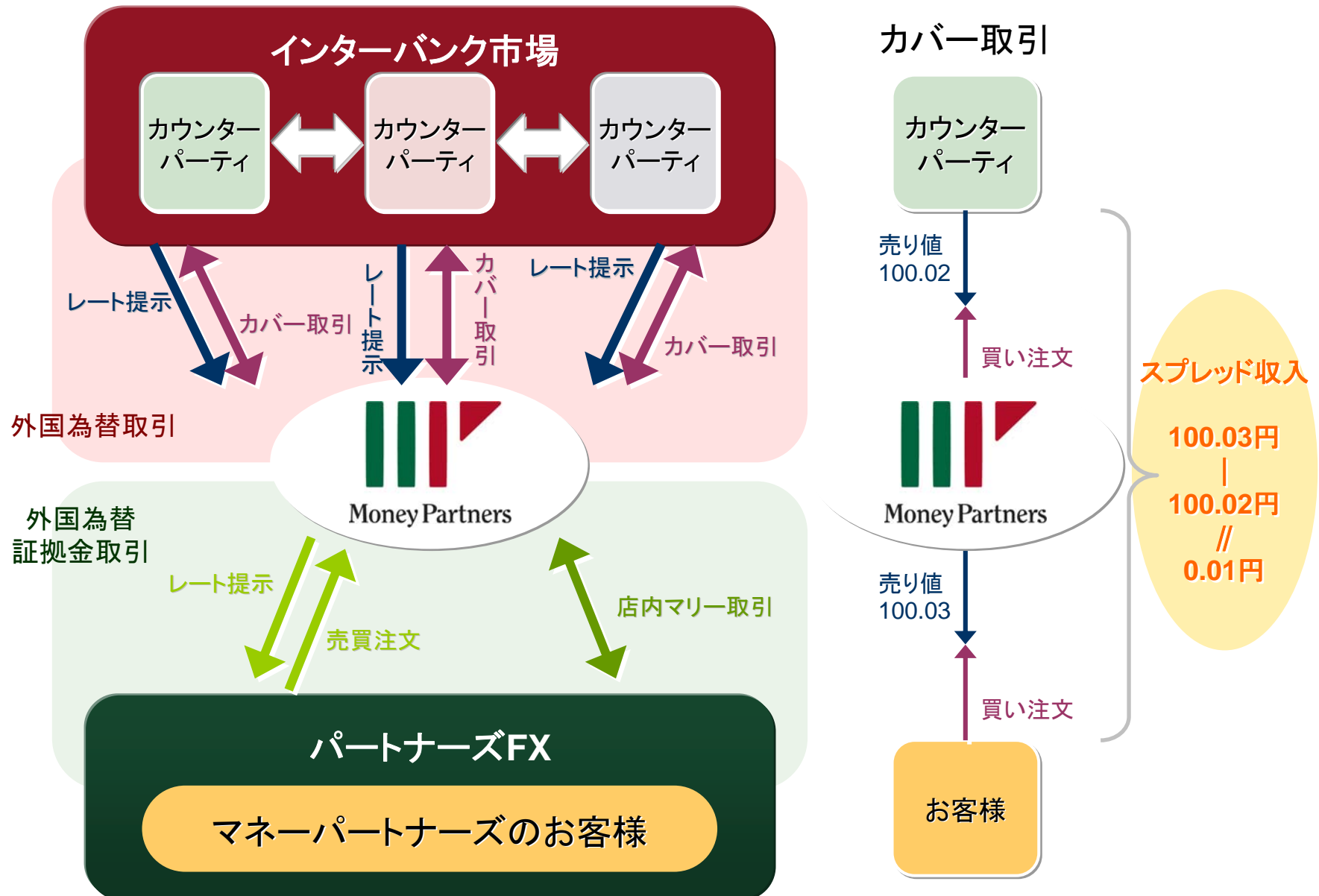
- 激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
- マネーパートナーズはFX専業・ネット専業の業者として業績を拡大しています。

個人投資家



- 当社は、外国為替証拠金取引 (FX) 専門の会社です
- 当社は、取引のほぼ全てをインターネットで行っております
- 当社は、FXを軸にOTCデリバティブサービスを展開していきます

当社の収益構造



1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性

- 手数料や会員費に頼らないトランザクションに依拠した収益構造の優位性
- 国内の同業者の中で早期にインターネット取引手数料無料化を実現したことにより顧客増加→取引量の増加の好循環を実現し、収益は大きく拡大
- 固定費微増、トランザクション急増により、高い収益を獲得

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤

- インターネットによりデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取り込みと定着化に成功
- ビギナー層の取り込み ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を戦略的に展望

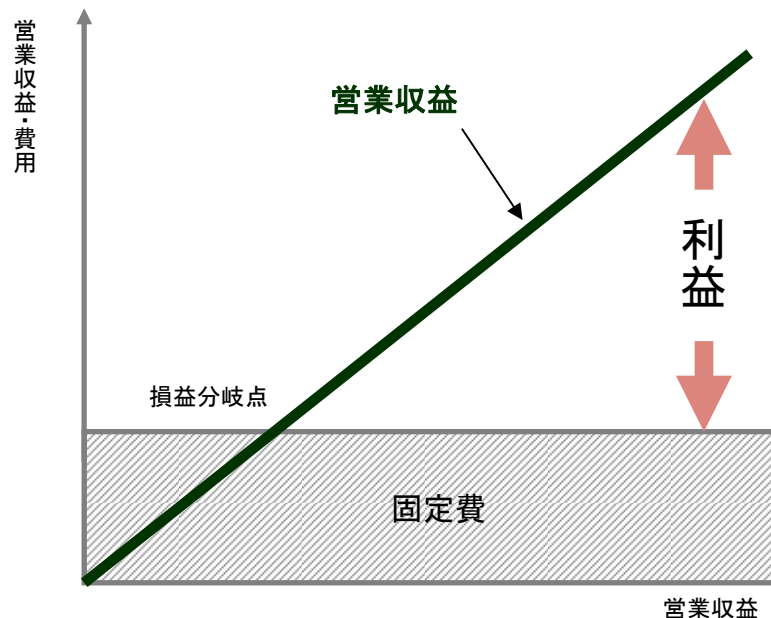
3. 子会社を通じたシステムの内製化

- 100%出資のシステム子会社を設立したことで、柔軟・迅速な対応が求められるネット企業においてシステム設計・開発、自社所有、システム保守・運用に関する優位性を確保

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性 ～トランザクション型ビジネスモデルとは～

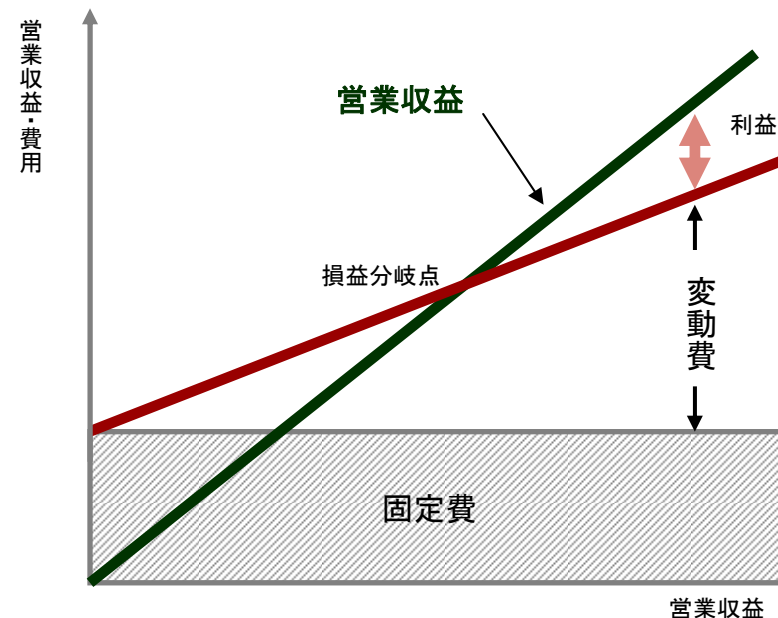
トランザクション型

マネーパートナーズ



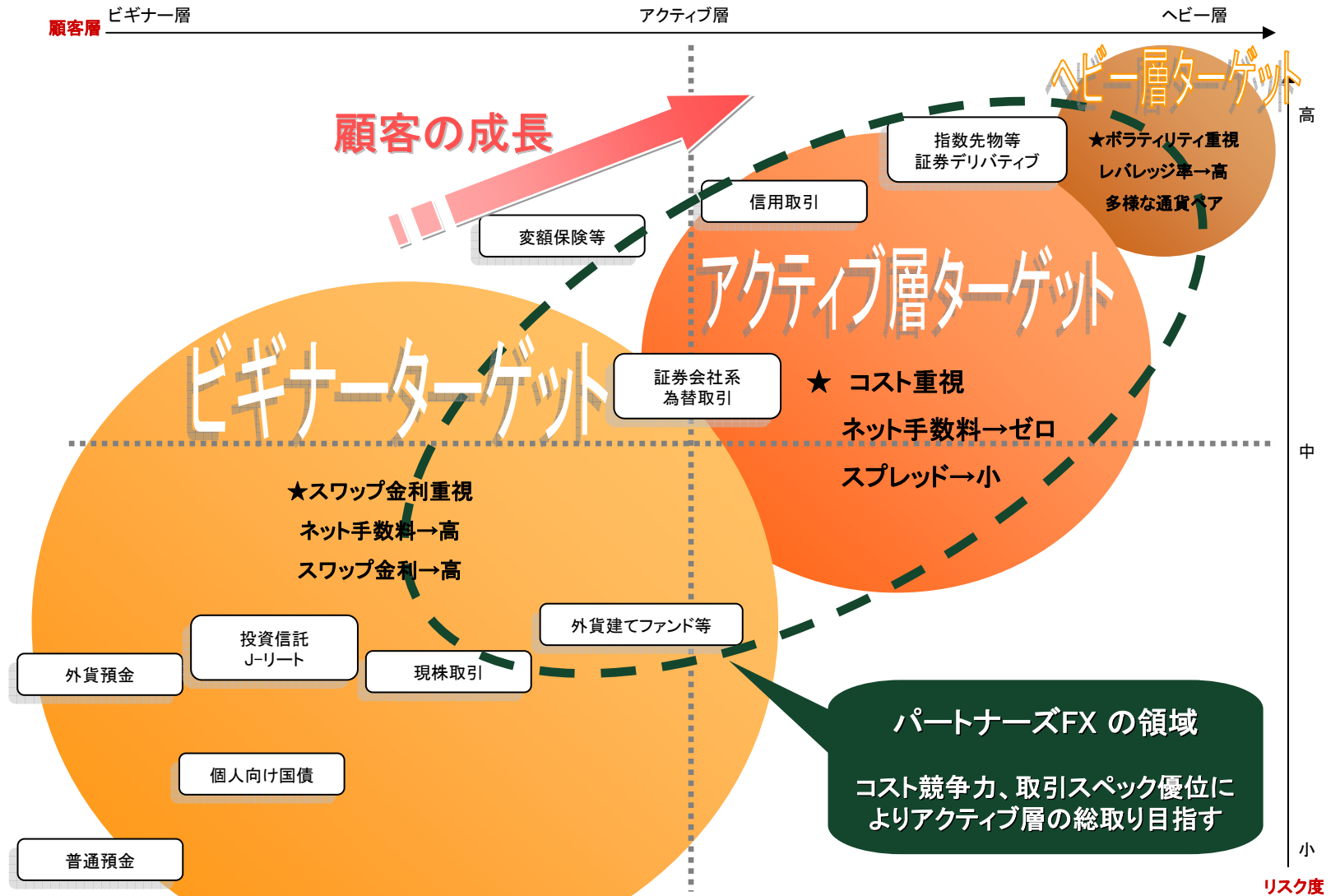
非トランザクション型

製造業、小売業・・・

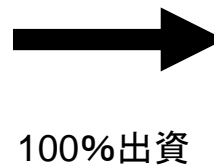


固定費を超える売上がほぼ利益となる事業構造

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤 ～パートナーズFXの商品特性と顧客層～



3. 子会社を通じたシステムの内製化 ～システム内製化によるメリット～



株式会社 マネーパートナーズソリューションズ

■設立 2006年9月15日

■代表者 小西 啓太

■資本金 3,000万円

■主な事業内容

外国為替証拠金取引に関するコンピュータシステム設計・開発

◆システム内製化によるメリット◆

1. 独自の保守・運営体制確立によるコスト削減効果
2. 全社戦略に則った計画的・機動的なシステム設計・開発
3. システム自社開発・所有によるBtoBビジネス展開
4. 人材の確保とITスキルの蓄積

今後の当社システム開発における設計・要件の権利化と
合理化・コスト削減を目指す、システム子会社を設立

パートナーズFX

「パートナーズFX」は当社が取扱う外国為替証拠金取引のサービス名称です。

The screenshot shows the Money Partners website interface. At the top, there are navigation tabs for '取引注文' (Trade Orders), '取引照会' (Trade History), '口座管理' (Account Management), '情報ツール' (Information Tools), 'お客様情報' (Customer Information), '報告書' (Reports), 'シミュレーション' (Simulation), and 'ホーム' (Home). Below this is a table of currency rates for USD/JPY, EUR/JPY, AUD/JPY, NZD/JPY, and GBP/JPY, each with bid and ask prices. A '新規注文' (New Order) section is visible, with options for '注文パターン' (Order Pattern) and '二次注文入力' (Secondary Order Input).

This screenshot shows the '新規注文' (New Order) form. It includes fields for '通貨ペア' (Currency Pair), '数量' (Quantity), '執行区分' (Execution Type), and '注文レート' (Order Rate). A 'レートの表示' (Quote Display) window is open, showing the current bid and ask rates for the selected currency pair (USD/JPY) as of 2007/02/08 18:17. The window lists various currency pairs and their corresponding rates.

パートナーズFXの顧客用トレード画面

初心者にもわかりやすいインターフェースを採用することで、幅広い投資家層の支持を得ています。

モバイル用パートナーズFXトレード画面

3キャリアに対応しており、24時間(※)動き続けるFX取引をサポート。

当社は、2005年6月に外国為替証拠金取引専門業者として設立し、業界に先駆けて新たなサービスを打ち出し、業界のリーディングカンパニーの1社としてサービスの提供を行っております。

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

パートナーズFX の特徴① ～ネット取引がほぼ100%～



URL <http://www.moneypartners.co.jp/>

初心者にもわかりやすいコンテンツや著名な執筆人によるコラムなど数多く用意しております。

ネットを介した取引がほぼ100%を占め、新規の口座開設もほとんどのお客様が当社のホームページ経由でお申込みされています。

パートナーズFX の特徴② ～充実した情報ツール～

為替は24時間(※)世界中で取引されており、レートも様々な要因で変動します。
世界情勢や重要な経済指標・要人発言はもちろん、テクニカル的な要因でも大きな変動をみせます。
そこで必要な情報として、マネーパートナーズでは、複数のチャートツールと複数のニュースをお客様に提供し、
投資判断を行う際にお役立ていただいております。

チャート: 高機能アプリケーションチャートシステム「ハイパースピード」
に加え、WEB版チャートシステム「MP Chart」など3種類

アジアンタチャート

MPチャート

ハイパースピード

ニュース: 「ロイターニュース」や1日150本以上のニュース
が配信される「Market Win24」など、3種類

Fiscoニュース

Reutersニュース

ロイターニュース

MW24

セミプロ層を中心に初心者まで幅広くサポート

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

パートナーズFXの特徴③ ～主要な通貨ペアに対応～

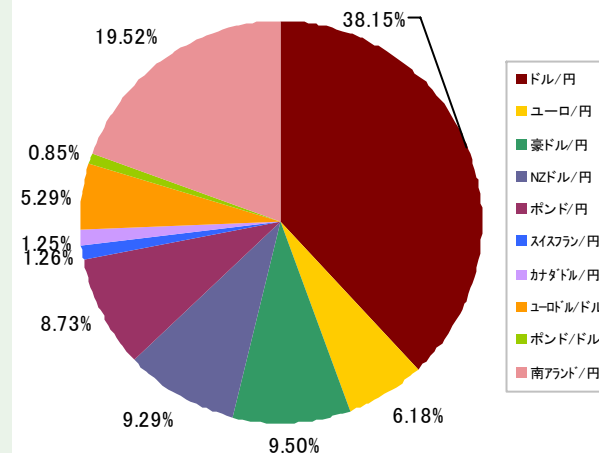
米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

投資家のニーズに合わせて、各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引を実現

当社取扱い通貨ペア

	USDJPY 米ドル円		AUDJPY 豪ドル円
	EURJPY ユーロ円		NZDJPY NZドル円
	GBPJPY 英ポンド円		ZARJPY 南アランド円
	CADJPY カナダドル円		CHFJPY スイスフラン円
	EURUSD ユーロ米ドル		GBPUSD 英ポンド米ドル

下記グラフは当社の平成19年11月2日時点での当社取扱い通貨ペア別のポジション比率をあらわしたものです。

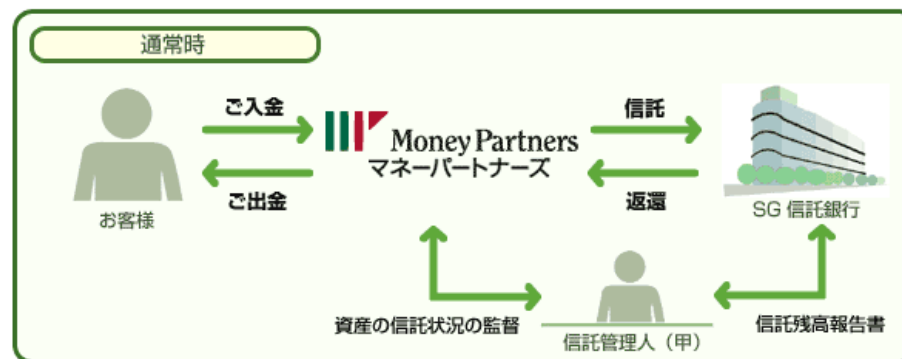


今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

パートナーズFX の特徴④ ～信託保全～

外国為替証拠金取引は、金融商品取引法に基づき、顧客資産の分別管理が義務付けられております。当社は、SG信託銀行と信託契約を締結し、顧客資産を信託口座にて分別管理しております。信託口座による分別管理を行うことで、当社が万一破綻した場合にも、信託管理人によって信託管理人口座からお客様へ直接返還される仕組みになっています。

お客様からのお預り資産は
全額信託銀行にて管理



万一の破綻時には、お客様へ
全額信託管理人口座より
直接返還されます



お客様に安心してお取引いただける環境を提供しております。

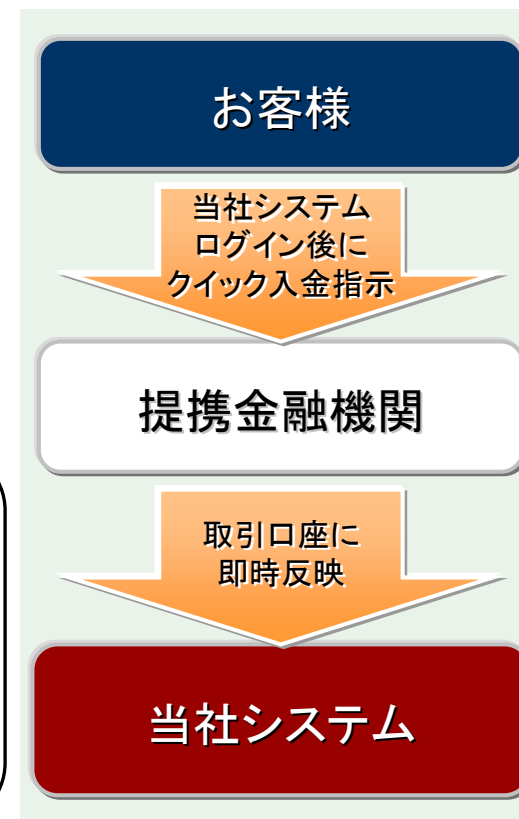
パートナーズFX の特徴⑤ ～クイック入金～

取引システム上で提携している金融機関から即時に取引口座に入金が行えるサービス「クイック入金」

クイック入金の特徴	
1	取引画面からスピーディな入金
2	入金手数料無料
3	24時間 ^(※) いつでも入金可能

提携先金融機関

三井住友銀行	みずほ銀行	ジャパンネット銀行	イーバンク銀行
三井住友銀行	みずほ銀行	ジャパンネット銀行	イーバンク銀行
ゆうちょ銀行	三菱東京UFJ銀行		
ゆうちょ銀行	三菱東京UFJ銀行	平成19年4月末 現在 提携金融機関は今後も追加していく予定です。	

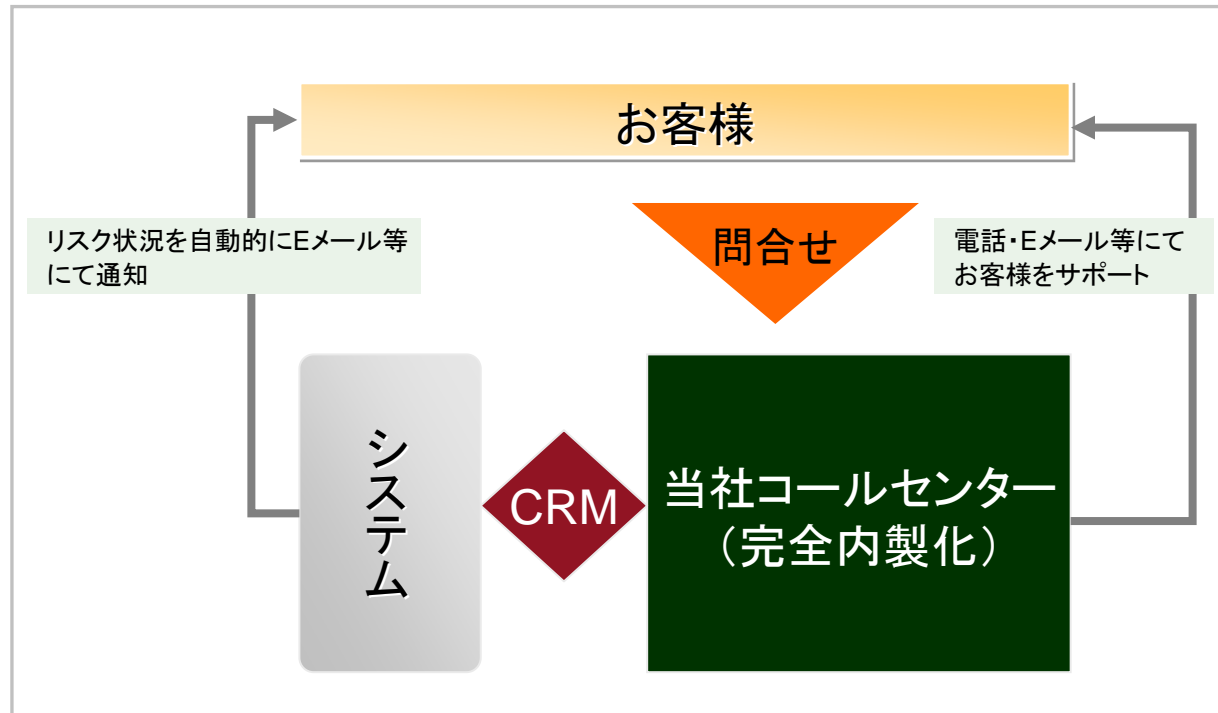


各種金融機関と提携することにより、動き続ける為替市場でのリスク管理や投資の機会損失に備える手段を提供しております。

※システムメンテナンス時間を除く

パートナーズFX の特徴⑥ ～コールセンター～

ネット取引が主体である当社においても、まだ新しい金融商品であるFX取引では、お客様からの様々なご質問・ご要望をサポートする体制を整えることが、重要であると考えております。
当社では品質を主体的に管理することを目的とした上で、コールセンターを内製化し、システムとの連携を図った上で、24時間お客様に安心と信頼のサービスを提供しております。



24時間3交代(15名)制で顧客管理・サポートを徹底

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から5万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)

〈登録番号〉関東財務局長(金商)第297号

〈加入協会〉社団法人 金融先物取引業協会(会員番号1540)



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2008年2月15日

